

要 旨

試験委託者

環境庁

表 題

p-クロロトルエンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

試験番号

9 B 4 6 6 G

試験方法

本試験は、OECD 化学品テストガイドライン No. 202「ミジンコ類、急性遊泳阻害試験および繁殖試験」(1984年)に準拠して実施した。

- 1) 被験物質： *p*-クロロトルエン
- 2) 暴露方式： 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)，水面をテフロンシートで被覆
- 3) 供試生物： オオミジンコ (*Daphnia magna*)
- 4) 暴露期間： 48時間
- 5) 試験濃度 (設定値) :
対照区，助剤対照区，0.500，0.900，1.60，2.80，5.00 mg/L
公比：1.8
助剤濃度一定：40.0mg/L (HC0-40 および 2-メチキタール使用)
- 6) 試験液量： 100 mL／容器
- 7) 連数： 4 容器／濃度区
- 8) 供試生物数： 20頭／濃度区 (5頭／容器)
- 9) 試験温度： 20±1℃
- 10) 照明： 16時間明／8時間暗
- 11) 分析法： HPLC法

結 果

1) 試験液中の被験物質濃度

被験物質の測定濃度が設定値の±20%を超えたものがあったため、各影響濃度の算出には実測値（幾何平均値）を採用した。

2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 2.59 mg/L (95%信頼限界 : 1.28~3.93 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 1.28 mg/L

100%阻害最低濃度 : 3.93 mg/L

3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EiC50) : 1.96 mg/L (95%信頼限界 : 1.28~2.30 mg/L)

最大無作用濃度 (NOECi) : 1.28 mg/L

100%阻害最低濃度 : 3.93 mg/L